

発行日 2020年1月1日
発行 特定非営利活動法人 ACT・人とまちづくり
〒203-0032 東京都東久留米市前沢4-9-6
小寺ビル203号(法人事務局)
TEL 042-479-4810 FAX 042-479-4860
<https://act-hitotomachidukuri.org/>
発行責任者 香丸眞理子

ケアマネジャー集団 NPO ACT・人とまちづくり

ワンチームで 国を動かそう!



左 たま北居宅介護支援事業所の
利用者の草田知子さん

地域でつながろう♪

2019年9月21日(土) 開催しました♪ 講座「高齢になる前に 知つておきたいこと」 (西東京市)



今後の参考になるお話し満載でした

プラス・ド・西東京で家族会を開催。「高齢になる前に知っておきたいこと」と題して、老後の財産と暮らしを守る方法を成年後見人として活躍されている司法書士の先生をお招きし、お話をいただきました。

2019年10月10日(木)開催しました♪ つどいの会 (町田市) 主催: オオオ屋企画士事務所



ほっこりゆったりなひと時。お話し会のあとはお食事会に！
デポー町田のまち☆ひろばにて開催しました。今年で3回目となるまちだ語り手の会の皆さんによる大人向けのお話し会です。成瀬の民話、世界の国々の昔話、絵本の読み聞かせなど盛りだくさん。楽しいひと時でした。



緊急アクションと題して10月に院内集会、11月に北沢タウンホールにて介護の日フォーラムを開催しました。今、正に介護保険制度が大きく変わろうとしています。この曲がり角に私たち現場から使いたい時、使えるサービスであり続けてほしいという思いを結集しました。

**介護保険は
負担割合が増え、
サービスは縮小!?**

今、大きく見直されようとしているのは、要介護1・2の方の生活援助と通所介護を外し各自治体に移行すること、そしてケアプランが利用者負担になる点です。

社会保障が大きく増えるため介護サービス縮小は仕方がないと言われますが、介護保険の事業収支はストレート時から一貫して黒字です。サービス受給者の6割弱が介護度2までの方で、その方々が多く利用しているのが、福祉用具・通所介護、そして訪問介護の生活援助です。対象者が多くサービスが集中していることで、一括

迫るメツセージを受け今後もあらゆる場で声をあげていきましょう。

人とまちづくりが実施し

有料化は反対！ の声が多数

た利用者ヒアリング調査によると6割弱の方がケアプラン有料化反対。判断に迷う方20%、財源がなければ仕方が無い?などの消極的賛成もあります。ケアプラン有料化は、相談というソーシャルワークにお金を払はなさい!と言うことです。児童相談、障害相談など全て

人とまちづくり 利用者ヒアリング調査より

※ケアプランの有料化について

反対	賛成	なにか
58%	22%	20%

反対理由

1. 保険料も高くなり、またサービス費用が増えると経済的に厳しい
2. ケアプラン作成は要介護者の相談援助の窓口。自己負担なしが当然

なことろから手直しするのは止めて！介護する人の支援を考えて欲しい。今までに家族介護が押しつけられると感じる。

A wide-angle photograph of a large conference room. Numerous people are seated at long, rectangular white tables arranged in rows. The room has a modern design with white walls and recessed lighting. In the background, there are more tables and what appears to be a stage or a different section of the room. The overall atmosphere is one of a formal meeting or assembly.

介護フ オーラム 介護保険制度の改悪に 利用者・介護者・サービス事業者・市民は 声をあげよう！

A wide-angle photograph of a large conference room. Numerous people are seated at long white tables, facing towards the front of the room where a presentation screen is mounted. The room is well-lit by overhead lights. In the foreground, a man in a dark suit is visible, looking down at his paper. The overall atmosphere suggests a formal meeting or seminar.

た質問状に対し厚労省、財務省の方々から回答をいたしました。その答えの中に、真に必要なものは当然大事にしていくという発言がありました。であるならば、社会保障費が増え続けます。



重厚な蔵造りを見事に表現した作品

事業所の利用者である
きょう居宅介護支援
事業所の利用者であ
ある川越の街並み
を描いた作品だ。
作者は、にしどう
の会が行われた。会場
9月、染物作家の展覧
会が開催された。会場
の朝夕に秋を感じる
造形物を世の中に流通させたい

彼は7年前パークイン
ソン病を患い、勤めて
いた会社をやむなく
退職。病気により運
動障害や、症状の進行
もあるが現在は服薬
で調整している。パー
キンソン友の会で交
流を図りつつ筋力の
維持向上のため週に
2回デイサービスに
通っている。

もともとお母さま
が染物をやっていて、
その影響もあり渡邊
さんはその関連の仕事を
していた。しかし病
後は右手が不隨にな
り、手が思うように動
かない。「作品に納得
できない。昔はで
きたのに残念」と語る。
一つの作品を仕上げ
るのに、1か月位かか
るそうだ。しかし染

経済的な問題で仕
事を見つけるのが1
番の課題となつてお
り、病気と向き合いな
がら営業活動を続け
る。NPO・ACTせたがや居宅介護支援事業所
西田谷区船橋1-1-2 山崎ビル205 ☎ 03-3425-5862

NPO・ACTねりま居宅介護支援事業所
練馬区桜台1-12-9 メナージュ桜台1F ☎ 03-5946-6881

NPO・ACTきた居宅介護支援事業所
北区東十条4-10-6 グリーンコーポ103 ☎ 03-5959-2241

NPO・ACTまちだ居宅介護支援事業所
町田市成瀬が丘2-27-1 FSビル1F ☎ 042-788-1561

NPO・ACTたま北居宅介護支援事業所
東村山市久米川町2-28-3 ソレイユハイツ101 ☎ 042-390-6301

NPO・ACTにしどうきょう居宅介護支援事業所
西東京市保谷町6-25-22 ルーチェ・ヨコタ102 ☎ 042-438-7416

NPO・ACTいたばし居宅介護支援事業所
板橋区徳丸2-30-16 生活クラブ館徳丸1F ☎ 03-5922-5222

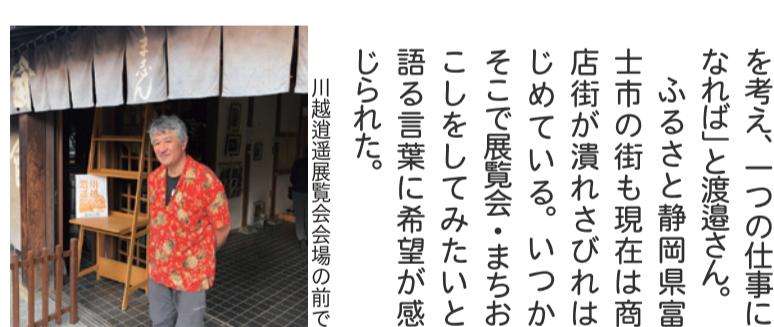
生きる

西東京市 渡邊新一郎さん(57歳) 作家名は渡邊新吉
要介護2 パーキンソン病

自分らしく生きるはどういうことか。その人なりの自分らしさを大事に生きている高齢の方々をシリーズで紹介してきました。今回は病と向き合いながら自らの力を夢に向かって新たな章を切り開こうとしている方をご紹介します。



賛助会員募集。私たちの活動に賛同してくださる会員を募集しています。



川越道遥展覧会会場の前で
「作家は作ったところで、ゴールだが、買つた人がそれをどう生活の中で使ってもらうか」となる。

可能な限り住み慣れた地域で「自分らしく暮らし続ける」ことを多くの人が願っています。病気や障害で医療機関に通院が困難になったとき、24時間体制で自宅に訪問してくれる在宅支援診療などの支援体制があります。地域で先駆的に活動している在宅医療機関をご紹介します。

現代医学と伝統医学、両方取り入れて患者さんの人生の伴走者に!

(練馬区)

医療法人社団悠翔会 くらしケアクリニック練馬
… 体制/常勤医4名 非常勤医3名 地域/練馬区全域・板橋区・北区・中野区(一部)

上田ゆき子医師

することの弊害があります。そこで、私たちは外来と在宅医療が一體的に提供できるクリニックを作りました。健やかで安全な生活を継続するという視点から、その方の心身の状態や人生の段階に応じた最適な治療を提供しています。

在宅医療への思い

8年前に訪問診療を始めてから、患者さんの生活や背景を把握できることで、一人一人に合ったオーダーメードの漢方薬を処方できるようになりました。

高齢者の体の症状は最新の現代医療よりも、体に優しく体力回復や食欲増進作用のある漢方薬の方が向いているケースを数多く経験しています。

加齢と共に起きる様々な症状に対し各科で処方された沢山のお薬が飲み切れない患者さんが、たまたま1種類の漢方薬で元気になられた例を経験してから、より在宅診療での漢方薬の必要性を感じています。

現代医学と伝統医学をどちらも取り入れて、患者さんの人生の伴走者として最後までお手伝いさせていただく、それが私の訪問診療に対する思いです。



ケアマネから

上田先生は現在子育て中。また、働く女性としての視点もお持ちで「生活者」としての感覚を大切にされています。その先生の温かな気持ちが利用者やご家族の方に通じ、先生の訪問診療で安心して過ごされていると思います。

クリニックより

2006年から在宅医療に取り組んできました。ご高齢の方々は、一度通院が困難になってしまふと復帰が難しくまた、複数の病気を持っておられる方は病気ごとに別の病院に通院したり、薬をもらったり

2019年10月19日(土)
中堅研修を行いました!

講師:あすか山訪問看護ステーション
平原優美さん



「End of Life Careについて」 身体的苦痛に対するマネジメントやケアにおける文化・倫理的配慮

ACT・人とまちづくり「中堅研修」に、あすか山訪問看護ステーション統括所長 平原優美さんを講師に迎え研修を行いました。今、社会で注目されており私たちケアマネジャーにとっても重要なテーマである「End of Life Care」について、身体的苦痛と文化・倫理的配慮に視点を当てて3時間にわたり講義をきました。

死を前にした人にどう対峙していくか? 講義前半は身体的苦痛へのケアや生活の質の考え方、また疼痛の定義や痛みの対処方法等について聞き、後半はケアにおける文化・倫理的配慮についてのお話しでした。

倫理的問題はケアに関わる判断や

行動の指針となる上で各個人が持っている価値観の違いから生じる問題であり、文化とは自身の生き方や、物事の意思決定の基盤となる考え方そのものであるとのことです。

それらの多様性に配慮し支援していく事が必要であると学びました。



アビリティクラブたすけあい会議室にて
研修の様子